

## ラーニング・サポーター ♪ 4月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

### <4月のつぶやき♪INDEX>

p1 学会発表を終えて @S.A.(英文学専攻博士課程後期3年) 4月11日 tweet

p1 新年度、ラーニング・サポーターに相談してみませんか? @T.M.(人間発達学専攻博士課程後期3年)

4月8日 tweet

p2 レポート課題に備えて @S.N.(英文学専攻博士課程後期2年) 4月12日 tweet

### つぶやき1♪ 学会発表を終えて

先月学会発表がありました。1月の授業が終了してからすぐ論文の執筆にとりかかり、あっという間に学会当日を迎えました。私が所属している学会では、ありがたいことに5年ほど前から定期的に発表する機会をいただいているのですが、やはり何度経験しても緊張します。今回も本番までは「あまり緊張しすぎず、万全な準備を整えて挑むぞ」と意気込んでいましたが、開始してまもなく緊張と不安に押しつぶされそうになりながら発表している自分の姿がありました…

そんな緊張感のある学会ですが、毎回参加する度に良い刺激を貰えているなど感じることもあります。それは、他の先生方のご発表やご講演を聞くことで、自分の論文に関して「次回は今回より良いものを書きたい」というポジティブな気持ちを得られることです。もちろん、発表の仕方や研究方法、また知らない専門分野に関して勉強ができるという部分も学会に参加する利点ではありますが、個人的には「話を聞いていたら純粋にこの作品を読んでみたくなった」、あるいは「自分の研究対象とは時代も作品の内容も全く違うのに、テーマとしては少し似ている部分があって面白い」と思うことがあり、そのようなご発表やご講演に出会うと、私が発表する際にも聞き手の方に同じようなことを感じてもらえると嬉しいと思うのです。

ある時、尊敬する指導教授から「文学研究は孤独な作業ですが、できるだけ楽しみながら作品を読むよう心掛けることで孤独感が和らぐと思います」というお言葉をいただいたことがあります。また、学部生時代にお世話になった旧師と今回の学会先でお会いした際には、「孤独な文学研究の中で自分が見つけた気づきや研究の楽しさを、発表という形で共有することに学会の意義があると思います」というお言葉をいただきました。2人の先生方の言葉を通して、今まで自分の中にあつた「研究」と「学会」という概念が、良い意味で変わったと感じました。

これから先論文を書いていく中で、研究に囚われすぎることではなく楽しみながら作品を読むこと、また学会では適度な緊張感をもちながら、自らの研究成果を共有する気持ちで発表という場を楽しんでみようと思いました。

### つぶやき2♪ 新年度、ラーニング・サポーターに相談してみませんか?

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます！そして在学生の皆さまも、ご進級おめでとうございます。新入生の皆さまにおかれましては、入学式、オリエンテーション、はじめての履修登録を経て、いよいよ授業も開始となり、これから始まる大学生活への期待と不安が入り混じった気持ちを抱えていることかと思えます。在学生の皆さまも、新年度

**文学研究科 英文学専攻 博士課程後期3年**

資格	専修免許状(中高・外国語) / 図書館司書資格
研究対象	ユダヤ系アメリカ文学(Isaac Bashevis Singer)



みなさまが充実した大学生活を過ごせられるように、何か少しでもお役に立てれば嬉しいと思っています。  
学習や資格、また教職に関してお悩みがある方はぜひお気軽にいらしてください。



図書館にてお待ちしております！



となったことで、将来や進路についてより具体的に考えるようになったり、何か新しいことに挑戦しようとする目標や計画を立てている方も多いのではないのでしょうか。

私たちラーニング・サポーターは、そんな皆さまの大学生活をサポートできるよう、学修相談を中心に様々なご相談を受け付けています。例年、履修登録の方法やパソコンの使い方、履修計画について、就職活動・進路に関する悩みなど、寄せられるご相談の内容は様々で、こんなこと聞いてもいいのかな…と躊躇せずに、ぜひお気軽に利用していただければ幸いです。自分ひとりで悩むのではなく、言葉にして他者に話すことで課題や問題点が見えてくることもありますし、話すことで気持ちや考えが整理されてスッキリした、という方も多くいらっしゃいます。家族や友人、先輩、先生とも異なる、図書館ラーニング・サポーターが相手だからこそお話しできることもあるかもしれません。

また、ラーニング・サポーターへの相談は、当日すぐの対面相談はもちろんのこと、図書館ホームページからの事前予約や、オンライン相談(要予約)も対応していますので、皆さまのご都合に合わせて、積極的に活用していただくと嬉しく思います。

これを読んでくださっている皆さまと、図書館ラーニング・コモンズさくらでお話しできる日を楽しみにしております♪

**2025年度ラーニング・サポーター**  
人間生活学研究科人間発達学専攻3年  
(食物・管理栄養士D3)

**経歴**

本学・食物学科 管理栄養士専攻 (学部) 卒業  
家政学研究科 食物・栄養学専攻 (修士課程) 修了  
人間生活学研究科 人間発達学専攻 (博士課程) 入学

**保有資格**

管理栄養士  
フードスペシャリスト  
栄養教諭専修免許




**サポート内容 (例)**

- 履修の相談・勉強の進め方
- レポート・プレゼン資料の作成方法
- 実習や教職、資格に関する相談
- 進級、進学、就職に関する相談
- 管理栄養士国家試験対策 など

当日すぐの対面相談はもちろん、図書館HPからの事前予約、オンライン相談(要予約)も可能です。皆さまの学生生活のサポートができればと思っておりますのでぜひお気軽にお声掛けください!



### つぶやき3♪ レポート課題に備えて

大学では、様々な学問分野でレポート執筆が求められますが、その作成方法は必ずしも丁寧に教わるものではなく、誰でも戸惑うことがあるかと思えます。レポート作成に慣れていないとき、「どこまで調べたらいいの?」「どこに根拠をつけるべき?」と判断が難しい場面があるかもしれません。そんなときに大切なのは、「客観的事実」と「自分の主張」とを区別することです。

念のため、次のことは、文系分野に限定したレポートの書き方としましょう。たとえば、歴史的な出来事や、よく知られた統計データなど、多くの人が共有している知識は「客観的事実」として扱われます。こうした内容には、特別な証拠を加える必要はありません(事実そのものを見直すことありますが、ここでは言及しないでおきます)。一方で、「この出来事はこう読める」「この描写はこう考えられる」といった自分の意見や解釈を述べる場合は、それが「なぜそう言えるのか」を支える根拠が必要になります。他者の研究、学術的なデータなどを通じて、自分の立場がただの思いつきではないことを示す必要があります。このような視点から文章を組み立てていくと、「どこにどれだけの証拠が必要か」が自然と見えてきます。主張の信頼性を高めるための適切な資料が明確になっていくと思えます。

そもそも何を書けばいいかわからない、と不安に思うことがあるかもしれません。そんな時は、授業や日常生活で、「面白い」「なぜか気になる」と思うようなテーマや出来事や表現、作品をメモしておきましょう。それは知的好奇心が刺激されたとても貴重な瞬間です。こうした「自分の関心の心電図」とも呼べる反応を大切にしてください。どんな小さなひっかかりであっても、あなたの感想を起点にレポートの題材が定まっていきます。

ラーニング・サポーターは、そうした学問的探究をお手伝いします。お気軽にお越しください!

*Department of English Literature*



**文学研究科 英文学専攻**

🇬🇧 **自己紹介**  
博士課程後期2年

🇬🇧 **研究対象**  
18-19世紀イギリス文学  
ロマン派詩人 William Wordsworth

🇬🇧 **ひとこと**  
語学の勉強のコツは...? 資格と授業の両立は...? 大学院での生活は...? 英語で論文はどう書くの...? 学びに関する様々な悩みや気になっていることについて、一緒に考えていきましょう! お待ちしています☺





ラーニング・サポーターのつぶやき (2025年4月)  
ホームページ [https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc\\_ls.html](https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html)  
編集: JWU ラーニング・コモンズさくら